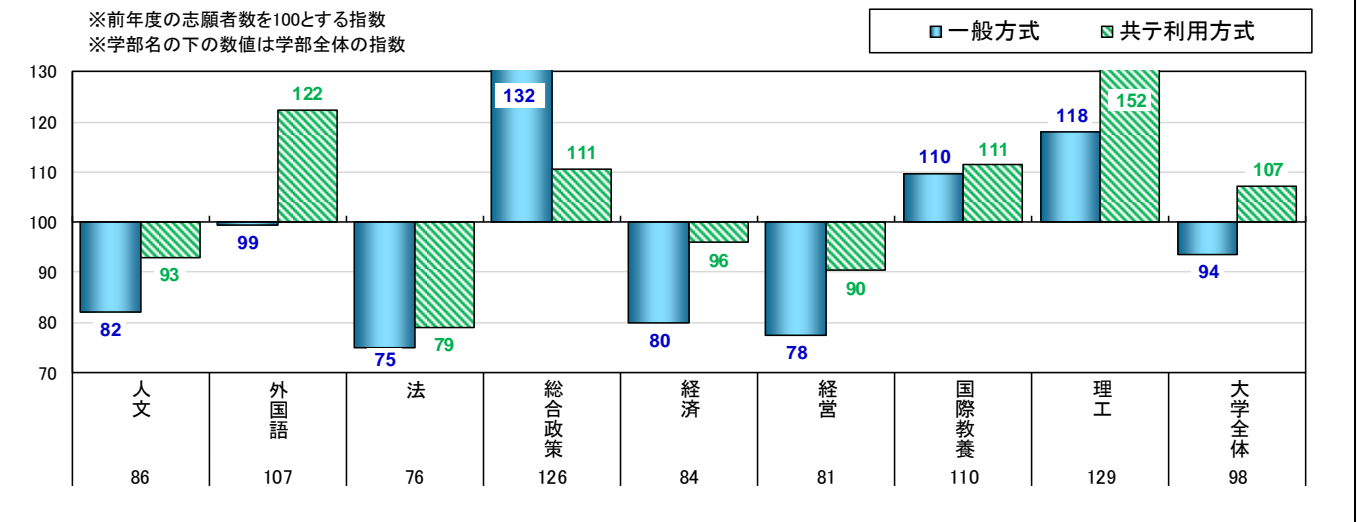


2021 年度入試状況分析【私立大】

南山大：大学全体では4年連続減少、ただし理工は4年連続増加 一般：-999人 共テ：+494人



入試変更点

学科改組：理工…(ソフトウェア工)、(システム数理)、(機械電子制御工)→(ソフトウェア工)、(データサイエンス)、(電子情報工)、(機械システム工)
 出願書類：全学部…出願要件として、「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験の提出を求める。
 「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入。 ※合否判定には使用しない。
 選抜方法：理工<一般・B方式>…廃止
 理工…第2志望制実施
 全学部<共テ併用・全学統一><共テ>
 …英語外部試験の対象試験追加
 英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT→ケンブリッジ英検、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT
 …英語外部試験のスコア変更
 英検(総合)2,304点以上、GTEC CBT(総合)1,260点以上、GTEC CBT(各技能)250点以上、IELTS(総合)6.0以上、TEAP(総合)334点以上
 →英検(総合)2,300点以上、GTEC CBT(総合)1,190点以上、GTEC CBT(各技能)175点以上、IELTS(総合)5.5以上、TEAP(総合)<共テ・後期>を新設したが309点以上
 募集人員：人文(人類文化)…<一般>55人→56人、<セ・前3科>3人→<共テ・前3科>4人、
 <セ・前5科>4人→<共テ・前5科>4人
 外国語(フランス/フランス文化)…<一般>14人→13人
 (フランス/フランス社会)…<一般>12人→13人
 入試科目：経済<一般・B方式>…数{(数I・II・A・B)or(数I・II・III・A)}→(数I・II・A・B)
 入試配点：理工(ソフトウェア工)…英(150点)→英(200点)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、505人(98)の微減だが4年連続減少。方式別では、一般方式(94)はやや減少で2年連続減少、共通テスト利用方式(107)はやや増加で6年ぶりに増加。学部別では、8学部中、増加4学部、減少4学部と半数ずつだった。

<一般方式>

- 人文(82)は、大幅減少。2017年度より4年連続2,700人台だった志願者数は、2,300人を下回った。学科別では、4学科全てが減少。(心理人間)(98)は微減だが、他の3学科はいずれも減少率30%を上回る大幅減少、特に(人類文化)(72)は前年度大幅増加の反動で減少率30%近い減少。
- 外国語(99)は、系統への人気低下の中、微減に留まったが2年連続減少。学科・専攻別では、(スペイン・ラテンアメリカ/ラテンアメリカ)(153)は2年連続大幅増加。一方で、(アジア/東南アジア)(45)は2年連続大幅増加で特に前年度が2.6倍以上の激増だった反動で半減以下の大幅減少、(ドイツ/ドイツ社会)(38)は前年度2.3倍以上の激増の反動で激減。
- 法(75)は、系統への低い人気と前年度増加の反動で大幅減少。
- 総合政策(132)は、前年度減少率40%を上回る大幅減少の反動で大幅増加。
- 経済(80)は、系統への人気低下の中、大幅減少で3年連続減少。
- 経営(78)は、系統への人気低下の中、大幅減少。方式別では、3教科型の<A方式>(78)、2教科型の<B方式>(77)、3教科型の<全学個別統一文系方式>(76)と全てで大幅減少。
- 国際教養(110)は、系統への向かい風の中だが、前年度大幅減少の反動で増加。
- 理工(118)は、<一般・B方式>廃止にもかかわらず、系統への人気の高まりと改組効果による大幅増加で4年連続増加。廃止になった<一般・B方式>を除くと(134)とさらに大幅増加。

<共通テスト利用方式>

- 人文(93)は、系統への人気低下と前年度やや増加の反動でやや減少。学科別では、(日本文化)(103)は3年連続減少の反動でやや増加、それ以外の3学科はいずれも減少。特に(キリスト教)(76)は大幅減少で4年連続減少、志願者数は50人を下回った。
- 外国語(122)は、系統への人気低下する中で、5年連続減少の反動が大きく大幅増加。学科・専攻別では全てで増加し、特に(ドイツ/ドイツ文化)(171)は2年連続大幅減少の反動で激増。(フランス/フランス文化)(156)も2年連続大幅減少の反動で増加率50%以上の大幅増加。
- 法(79)は、大幅減少で2年ぶりの大幅減少。

2021 年度入試状況分析【私立大】

- 総合政策(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。しかし、反動は小さく志願者数は2年連続で700人を下回った。
- 経済(96)は、系統への人気低下で6年連続減少。
- 経営(90)は、系統への人気低下で2年連続減少。
- 国際教養(111)は、系統への人気低下があるものの、3年連続減少の反動が大きく増加。
- 理工(129)は、系統への人気の高まりと改組効果、さらに3年連続減少の反動で増加。